

平成 21 年度 全国学力・学習状況調査の結果について

本校 6 年生の全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします。

1 学力の状況について [...定着度が良好なもの、 ...課題として残ったもの]

(1) 国語 A (主として知識) について

文章の内容に合わせて小見出しを書く。【書くこと】

文学的な文章の表現の工夫をとらえる。【読むこと・言語事項】

ローマ字の読み書き。【言語事項】

文の意味を考えながら、接続詞を使って内容を分けて書く。【言語事項】

(2) 国語 B (主として活用) について

目的や意図が伝わるように話の組み立てを工夫しながら説明する。【話すこと・聞くこと】

目的や意図が伝わるように必要な情報を取り出す。【話すこと・聞くこと】

目的や意図に応じて、自分の考えをまとめる。【読むこと】

(3) 算数 A (主として知識) について

整数・小数・分数の四則計算ができる。【数と計算】

偶数奇数の意味を理解する。【数と計算】

数を四捨五入して、概数で表す。【数と計算】

百分率を求める。【数量関係】

資料を 2 つの観点から分類整理し、表を用いて表す。【数量関係】

(4) 算数 B (主として活用) について

整数と小数の加法を用いて、重さを求める。【数と計算・量と測定】

グラフから必要な数量を読み取る。【数量関係】

示された部分の長さを測らなくても調べられる理由を、図形の性質を基に考える。【図形】

与えられた条件に合う時刻を、筋道を立てて考え、それを記述する。【量と測定】

(5) 国語と算数について

「知識」に関する問題 A と「活用」に関する問題 B を比較すると、「知識」に比べて「活用する力」が低く、全国と同様の傾向が見られ課題が残る。

2 学習習慣・生活習慣の定着について (児童質問紙に表れた傾向)

(1) 学習に対する関心・意欲・態度、家庭学習等について

- ・ 全国と比較し、国語、算数の勉強が将来に役立ち大切であると考えている子どもが多い。また、好きな授業がある子どもも多い。しかし、その比率に比べると、国語や算数の学習が好きである子どもが少ない。読書の時間を増やすなど子どもがさらに学習を好きになり、意欲をもって勉強に取り組む環境づくりを工夫する必要がある。
- ・ 家庭においては、自分で計画を立てて勉強している子どもが多い。宿題にはしっかり取り組むが、予習や復習に取り組む子どもが少ない。家庭学習の時間が少ない子どもがやや多く、与えられた課題に取り組むだけでなく自主的な学習に取り組む態度を育てたい。

(2) 家庭・地域での生活について

- ・ 本校は、家庭での基本的な生活習慣が定着している子どもが多い。家族と一緒に食事をする子どもが多く、家庭でのコミュニケーションが適切に行われていると考えられる。
- ・ 地域の歴史や自然に関心を持ち、地域清掃活動など地域の行事に参加している。近所の人にあいさつする子どもが多く、地域と子どもの結びつきが深まりつつある、今後も地域とのかかわりを深めていくようにしたい。

(3) 子ども自身に関することについて

- ・ 失敗をおそれず挑戦したり、ものごとを最後までやりとげて満足感を感じたりしている子どもが多い。また、「自分にはよいところがある」、「将来の夢や目標をもっている」、「将来人の役に立つ人間になりたい」と回答する子どもが多く、子どもが自分自身の今や未来をしっかりと見つめていることがうかがえる。さらに成就感や自尊感情、自己肯定感が高まるような指導を工夫したい。
- ・ 「いじめはいけないこと」、「人の気持ちが分かる人間になりたい」と考える子ども、学校のきまりや友達との約束を守る子どもが多く、規範意識が高まっている。6年生だけでなく全校に波及するような指導を工夫したい。

3 学校として

学力や学習の状況を考え、学習に対しての関心・意欲・態度の育成が重要になっている。学校においては、TT（ティームティーチング）や少人数指導などを活用し、一人一人に応じたきめ細かな指導を心がけ、分かる授業を目指し、学習好きな子どもを育てていくように努める。漢字・算数大会やチャレンジテストに強調週間を設け全校一斉の目的をもって学習に取り組むなど意欲的な学習にむけた学校・学年の雰囲気作りにも努めたい。また家庭では、宿題だけに限らず、予習や復習など自主的・計画的な学習も大切にし、勉強の仕方や時間などについて具体的にアドバイスができるよう努めていきたい。

学校では、子どもたちのよさをさらに伸ばし、課題となった点は方策を検討していきます。保護者の皆様には、子どもが家庭で学習に集中できる環境づくりにご協力をお願いいたします。